

自己評価票

- 自己評価は全部で100項目あります。
- これらの項目は事業所が地域密着型サービスとして目標とされる実践がなされているかを具体的に確認するものです。そして改善に向けた具体的な課題を事業所が見出し、改善への取り組みを行っていくための指針とします。
- 項目一つひとつを職員全員で点検していく過程が重要です。点検は、項目の最初から順番に行う必要はありません。点検しやすい項目（例えば、下記項目のⅡやⅢ等）から始めて下さい。
- 自己評価は、外部評価の資料となります。外部評価が事業所の実践を十分に反映したものになるよう、自己評価は事実に基づいて具体的に記入しましょう。
- 自己評価結果は、外部評価結果とともに公開されます。家族や地域の人々に事業所の日頃の実践や改善への取り組みを示し、信頼を高める機会として活かしましょう。

地域密着型サービスの自己評価項目構成

	項目数
I. 理念に基づく運営	22
1. 理念の共有	3
2. 地域との支えあい	3
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	5
4. 理念を実践するための体制	7
5. 人材の育成と支援	4
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	10
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	4
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	6
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	17
1. 一人ひとりの把握	3
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	3
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	10
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	38
1. その人らしい暮らしの支援	30
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	8
V. サービスの成果に関する項目	13
合計	100

○記入方法

[取り組みの事実]

ケアサービスの提供状況や事業所の取り組み状況を具体的かつ客観的に記入します。(実施できているか、実施できていないかに関わらず事実を記入)

[取り組んでいきたい項目]

今後、改善したり、さらに工夫を重ねたいと考えた項目に○をつけます。

[取り組んでいきたい内容]

「取り組んでいきたい項目」で○をつけた項目について、改善目標や取り組み内容を記入します。また、既に改善に取り組んでいる内容・事実があれば、それを含めて記入します。

[特に力を入れている点・アピールしたい点] (アウトカム項目の後にある欄です)

日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入します。

○用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家族 = 家族に限定しています。

運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。

チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

○評価シートの説明

評価調査票は、プロセス評価の項目(No.1からNo.87)とサービスの成果(アウトカム)の項目(No.88からNo.100)の2種類のシートに分かれています。記入する際は、2種類とも必ず記入するようご注意ください。

事業所名	株式会社 ドリエジヨ ゆめさとグループホーム
(ユニット名)	あじさい
所在地 (県・市町村名)	滋賀県蒲生郡日野町西大路字井上434-2
記入者名 (管理者)	雲林院 江津子
記入日	平成 19年 7月 1日

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I 理念に基づく運営					
I-1. 理念と共有					
1	1	<input type="checkbox"/> ①地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	開所当初より、独自の理念を創りあげているが、生かすきれていない部分もある。	○	今後、理念を生かしていけるように努力して行く。
2	2	<input checked="" type="checkbox"/> ②理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	入居者の個性をいかして行くことがなかなか難しいが、職員は入居者を支え、日々の一瞬の感情を大切にしている。	○	入居者の個性を活かしていけるような環境づくり。
3		<input checked="" type="checkbox"/> ③家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	家族さんには入居時に説明し、理解していただき、運営推進委員会を開いてからは少しずつ地域の方々にも理念を知っていただいている。	○	地域の方々に、少しずつグループホームでの理念を知っていただき、地域密着としての方向性を知っていただく。
理念と共有 3項目中 2項目					
I-2. 地域との支え合い					
4		<input checked="" type="checkbox"/> ①隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄りてもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	近隣の方々と気軽に挨拶し、会話が出来る。畑が近いこともあり、野菜や花を下さったりする。	○	入居されている方のプライバシーもあり保護もあり、田舎の法権的な考え方もまだあり、どうすれば近づいていけるか検討していきたい。
5	3	<input checked="" type="checkbox"/> ②地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	同じ地域の納涼祭に参加し、地元の方々とふれあいをしている。地域の小学校の生徒さんと交流があり、行事など積極的に参加している。	○	前回参加させていただいた行事は毎年参加できるように同じ地域の仲間として受け入れていただけるように地域の活動など積極的に参加していきたい。
6		<input type="checkbox"/> ③事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	月に一回の会議で話し合うことはあるが具体的には上がっていない。	○	今後、運営推進会議で地域の高齢者の状況などを把握し、状況に応じて相談など聞き入れ役立てるようなことがあれば、協力していく。
地域とのつきあい 3項目中 2項目					

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I-3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
7	4	<input checked="" type="checkbox"/> ①評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	評価を各自で行うことで理解はしているが、具体的な改善まではなかなか取り組めていないこともある。	○	評価を受け、今後取り組んでいかなければならない内容を話し合っていく。
8	5	<input checked="" type="checkbox"/> ②運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	二ヶ月に一回運営推進委員会を行い、グループホームでの取り組みについて報告し、意見などをかわし地域につながるサービスが向上に活かされる方向に向いている。		運営推進会議でまとめた内容を今後サービスに活かしていく。
9	6	<input type="checkbox"/> ③市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	機会は少ないが、グループホームでおきている問題点などを相談することはある。質の向上までは取り組めていない。	○	市町村との連携が上手く作り上げていけるように現在の状況などを把握しておいてもらう。
10		<input checked="" type="checkbox"/> ④権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	制度への理解など、事業所内のケアマネなどから学び、それに応じて支援していく。		事業所内のケアマネから学ぶ機会を出来るだけ持ち、制度に対する話や、グループホームのアドバイスを頂く。
11		<input checked="" type="checkbox"/> ⑤虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	職員会議の議題として、意見を出し合い防止に努めている。入浴時の身体観察や管理者がくれぐれも注意している。	○	虐待に対する勉強会などを開き、具体的な虐待行為について考える機会を作る。
理念を実践するための制度の理解と活用 5項目中 4項目					
I-4. 理念を実践するための体制					
12		<input checked="" type="checkbox"/> ①契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	説明時には、十分な話し合いが出来る時間などを設け、家族さんの思いなどを聞き、納得していただき同意、契約している。		
13		<input checked="" type="checkbox"/> ②運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	入居者の思いを言動から察する努力をし、その時の入居者の不安や意見などを記録し、話し合いを行い考えているが、外部には表せていない。	○	入居者からの意見や苦情について、速やかに対応し、改善の経過や結果を伝えていきたい。
14	7	<input checked="" type="checkbox"/> ③家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	月1回、一人一人の利用者の家族さんにグループホームでの様子や健康状態・金銭管理など同封し送っている。		

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
15	8	<input checked="" type="checkbox"/> ④運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族さんからの不満や苦情などをミーティングなどで話し合う場を設けているが、外部に意見を聞くまでのことはしていない。	○	家族会を設け、家族同士の集まりの場で意見を出しやすくする環境をつくる。苦情への対応を話し合い、質の向上を目指す。
16		<input checked="" type="checkbox"/> ⑤運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月一回のミーティングで職員の意見や提案を出しやすくする雰囲気を作っているが、話がまとまらず、だらだらしていることがある。	○	職員からの意見・提案を出来るだけ反映させ、質の向上に繋げて生きたい。
17		<input checked="" type="checkbox"/> ⑥柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	急な休みのときに応援してくれる人の確保は難しいが、職員間の協力・デイサービスからの応援で対応している。		
18	9	<input checked="" type="checkbox"/> ⑦職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員が移動するときは、入居者の方に不安を与えないように配慮し、何があってもすぐに対応できるように引継ぎや情報収集をしっかりと行っている。各ユニットごとに職員を固定し、顔馴染みの職員によるケアを心掛けている。		
理念を実践するための体制 7項目中 7項目					
I-5. 人材の育成と支援					
19	10	<input checked="" type="checkbox"/> ①職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	育成するための計画は立てられていないが、ミーティングなどで、勉強会などをし全職員が理解できるように取り組んでいる。	○	日々のケアなどの質の向上に向けた介護技術など計画的に学ぶ機会を取り入れていきたい。
20	11	<input checked="" type="checkbox"/> ②同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム部会や運営推進会議などを設立し、外部の同業者や地域の方々と交流し、情報交換することで質を向上させている。		
21		<input checked="" type="checkbox"/> ③職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	管理者が職員の思いなどをゆっくりと聞くため、面談をし話を聞く機会を設けている。	○	他のグループホームや事業所と交流の場を持ち同じ職業でのことを共感し合える場を設けていきたい。
22		<input checked="" type="checkbox"/> ④向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	職員一人ひとりにしっかり現場での思いを聞きだせるように話しかけ、向上心をもっていくようにしている。		
人材の育成と支援 4項目中 4項目					

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
II-1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
23		<input checked="" type="checkbox"/> ①初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	面談で生活状況を把握し、本人の不安や思いを聞き入れ、本人に受け入れてもらえるような関係づくりになるように努めている。		
24		<input checked="" type="checkbox"/> ②初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	家族さんが不安に思っていることなどを聞きだせるように努め、ゆっくりじっくり話せる場を設けるように努めている。		
25		<input checked="" type="checkbox"/> ③初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	家族の方の話をじっくり聞き何が必要かを把握し、出来る限りの対応に努めている。		
26	12	<input checked="" type="checkbox"/> ④馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	利用する前の本人の情報収集をしっかりと行い。出来るだけ馴染めるような環境を作っておくようにしている。	○	家族さんとともに本人が安心してサービスを利用して頂けるように支援していきたい。
相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 4項目中 4項目					
II-2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
27	13	<input checked="" type="checkbox"/> ①本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜ぶこと、喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	日々の話の内容や食事準備をして下さっている時の料理の仕方などを学ぶことも多くお互いが協力しながら生活できている。	○	利用者の方々からたくさん学ぶ機会が作っていけるよう利用者の方とゆっくり関わられる時間を作っていきたい。
28		<input checked="" type="checkbox"/> ②本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	日々の暮らしを一ヶ月ごとでまとめ手紙に書いて送っている。家族の思いを職員が聞き取り一緒に考えている。		
29		<input checked="" type="checkbox"/> ③本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	入居時に家族の思い、今までの関係などを聞き入れ理解して上で関係を持てるように心掛けている。年に何度か家族との交流で外食など行っている。	○	本人と家族、お互いの思いが結びつくような働きかけを行っていきたい。

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
30		<input checked="" type="checkbox"/> ④馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れな いよう、支援に努めている	今まで生活されていた自宅や故郷に帰 り、馴染みの方々にも出会いお話をしたり している。今までの宗教についての関係 の継続。	○	家族さんや周りの方々に努力を求め、 今後も大きく取り組んでいきたい。
31		<input checked="" type="checkbox"/> ⑤利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関 わり合い、支え合えるように努めている	気の会う、合わない人を把握し、出来るだ け居心地の良い環境を提供できるように 考えている。	○	入居の方々の関係が上手くいくように 職員が間に入り、調整していく。
32		<input checked="" type="checkbox"/> ⑥関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者 や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	町で出会ったり、施設へ尋ねてこられる際 は、快く対応している。		
新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 6項目中 項目					

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
Ⅲ-1. 一人ひとりの把握					
33	14	<input checked="" type="checkbox"/> ①思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	本人の意思疎通が難しい方が多く、家族や本人の気持ちになって考えるようにしている。	○	本人の気持ちや希望などを言葉や表情などからとらえていく。
34		<input checked="" type="checkbox"/> ②これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	今までの暮らしに関わる方から情報を得るようにし、努力している。		
35		<input checked="" type="checkbox"/> ③暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	介護記録・業務日誌・ケース記録などに記入し、全体的に把握できるように努めている。	○	一人ひとりの生活のリズムを把握し、全体で統一し支援していく。
一人ひとりの把握 3項目中 3項目					
Ⅲ-2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
36	15	<input checked="" type="checkbox"/> ①チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	ミーティングで話し合いの場は持っているが、話す場が少ない。家族からの意見がそれほど聞きだせていない。	○	普段の関わりの中から、本人の思いなど聞き入れ、ミーティングなどで情報交換し介護計画に反映していきたい。
37	16	<input type="checkbox"/> ②現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	現状の変化に応じての介護計画の見直しは出来ていない。介護計画について家族さんとの話し合いがなかなか出来ていない。	○	現状や変化に生じての介護計画の検討・見直しを行っていく。
38		<input checked="" type="checkbox"/> ③個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個人の日常のケース記録から情報を共有し、介護計画を見直している。		
介護計画の作成と見直し 3項目中 2項目					
Ⅲ-3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
39	17	<input checked="" type="checkbox"/> ①事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	専属の医師の往診や受け入れ先の病院などあり、問題のある方などは包括支援センターに相談を持ちかけている。	○	柔軟な支援を受け入れられるように呼びかけていく。
多機能性を活かした柔軟な支援 1項目中 1項目					

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
		Ⅲ-4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働			
40		<input checked="" type="checkbox"/> ①地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	二ヶ月に一回運営推進会議を開き、地区の老人会会長の方・民生委員の方・包括支援センターの方と話し、協力しながら支援している。	○	今後、積極的に周囲への働きかけを行っていく。
41		<input checked="" type="checkbox"/> ②他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	出来るだけ地域の事業所と話しサービスや連携を図っているが、なかなか生活支援までは結びついていない。	○	地域の方々と連携を図っていきけるように他の事業所を知って利用していきけるように取り組んでいきたい。
42		<input checked="" type="checkbox"/> ③地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	事業所内で解決できない問題についてや、地域サービスについての現状などその都度協力して支援して頂いている。		
43	18	<input checked="" type="checkbox"/> ④かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	定期的な馴染みのある医師の受診のもと適切な医療対応をしていただいている。毎月一回医師の往診があり、医療面での相談をしてもらっている。	○	認知症のある方だという方向からの医療的なアドバイスを頂きたい。
44		<input checked="" type="checkbox"/> ⑤認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	身近な医療機関に認知症の専門医がないが、認知症の症状が重くなってきた場合などには、専門医を受診している。	○	認知症の専門医と連携を取れるような方向で考えていきたい。
45		<input checked="" type="checkbox"/> ⑥看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	デイサービスと併設しているため、デイの看護師に相談している。	○	今後、看護師を配置する予定。
46		<input checked="" type="checkbox"/> ⑦早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	入院された場合、職員が様子を伺いに病院へ行き、病院関係者や家族さんに話し、状況を聞いている。		
47	19	<input checked="" type="checkbox"/> ⑧重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	終末期に向けた医療面の方向を医師から聞き、家族さんと話し今後事業所で出来るターミナルケアを話し合い対応している。	○	家族さんとの話し合いの場を設け、本人・家族さんの状況・希望を考慮して最善を尽くせるように心掛ける。

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
48		<input checked="" type="checkbox"/> ⑨重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	ミーティングなどで今後の終末期に向けた医療の方向性を医師から聞き、家族をふまえ今後の事業所が出来るターミナルケアを話し合い対応している。	○	終末期のケアを医療機関と上手く連携を図っていけるようにしていきたい。
49		<input checked="" type="checkbox"/> ⑩住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	入居される前に本人の情報収集を行い、ミーティングなどで入居されてからの対応などを話し合っておき、今までの環境や暮らし方に配慮している。	○	本人がグループホームの環境に馴染んでいけるように、職員が機会を作っていく。
地域資源との協働 10項目中 10項目					

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
IV-1. その人らしい暮らしの支援					
IV-1. (1) 一人ひとりの尊重					
50	20	<input checked="" type="checkbox"/> ①プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーに配慮した言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしている	プライバシーを守るため、居室の設備やトイレ介助などさりげなく介助している。本人の言動(場にそぐわない)を否定しないようにしている。	○	記録などは入居者の方の見守りをしながら行っていることが多いが、管理は徹底している。
51		<input checked="" type="checkbox"/> ②利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	利用者に合わせて声かけし、気長に耳を傾け話をしたり、表情を読み取り出来るだけ本人の思いにそった生活支援をしている。	○	入居者とゆっくり接するし時間を作っていく必要がある。
52	21	<input checked="" type="checkbox"/> ③日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	外出希望や買い物希望があれば、出来るだけ対応しているが、身体介護に時間がかかる方が増えてきているため、優先できないこともある。	○	本人のペースを大切に、その人らしい暮らしがしていけるように配慮していく。
その人らしい暮らしの支援 (1)一人ひとりの尊重 3項目中 3項目					
IV-1. (2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		<input checked="" type="checkbox"/> ①身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	身だしなみ・お化粧の支援や地域や馴染みのある美容室に行かされている。	○	女性ばかりのユニットなので、気軽におしゃれなどを楽しめる雰囲気を作っていく。
54	22	<input checked="" type="checkbox"/> ②食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	畑があり、旬の野菜などを入居者と収穫し、その食材を使って一緒に調理をしたり、盛り付けや食事の方付けをしていただいている。	○	入居者の好みの物や嫌いなものを配慮し、嫌いなメニューの日には変わりのもので対応していく。
55		<input type="checkbox"/> ③本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	体重増加予防のため、こちらから決まった時間に提供している。	○	何も問題のない方については、状況に合わせて好まれる物を提供していきたい。
56		<input checked="" type="checkbox"/> ④気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	排泄チェック表に記入し、排泄時間を把握し排泄間隔を把握し、声かけ・介助を行っている。身体機能低下により、パットをしている人が多い。	○	一人ひとりの排泄状況を見直し、改善できる部分をミーティングで検討していく。下剤の調整をしっかり行う。
57	23	<input checked="" type="checkbox"/> ⑤入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴好きな人や毎日入りたいという方の希望を聞いて一人でゆったりとその方のペースで入浴していただいている。	○	一般浴で入浴困難な方は、デイの特浴で対応している。

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
58		<input checked="" type="checkbox"/> ⑥安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	自分から、布団に横になりに行かれたり、訴えがある方、表情より休んでいただくようにしている。	○	休息や睡眠のリズムを大切に、寝付きやすい室温調節の管理を行っている。
その人らしい暮らしの支援 (2)基本的な生活の支援 6項目中 5項目					
IV-1. (3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	<input checked="" type="checkbox"/> ①役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	食事準備や家事などその人に出来ることをしていただき、デイサービスのレクリエーションや地域の行事の参加、外出を支援している。	○	地域行事の参加など外の方々とのかかわりや同じ地区の小学生との関わりを持ち交流と楽しみを持っていただけるような地域参入をめざしていく。
60		<input checked="" type="checkbox"/> ②お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	金銭管理が十分に出来ない方がほとんどなので、事務所で預っている。少し手持ちのお金を持っておられる方もいる。	○	おでかけのときは、職員はそばに付き添い、入居者に支払いをして頂き、金銭の大切さを感じていただく方向に持っていきたい。
61	25	<input checked="" type="checkbox"/> ③日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	天気が良い日や本人の希望に応じて外に散歩に行ったり、季節感を感じていただくように支援している。	○	家族の方々との外出や職員と故郷に行ったり、個々に本人の行きたいところを実施計画していく必要がある。
62		<input checked="" type="checkbox"/> ④普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	家族に協力してもらい一緒に出かけられるように話をもちかけ行きたいところを計画している。	○	本人の行きたいと思う場所への計画と立て場合によっては家族の協力を得る。
63		<input checked="" type="checkbox"/> ⑤電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	電話の受け答えができる方には、支援している。居室に電話を設置し自由に電話で連絡をしておられる方もいます。	○	電話でのコミュニケーションが取れない方などは、手紙を書いていただくようにしていきたい。
64		<input checked="" type="checkbox"/> ⑥家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	気軽に来て頂けるように声をかけさせていただいたり、本人の居室でゆっくり過ごして頂くように配慮している。	○	いつ尋ねてこられても、気持ちの良い対応や環境づくりを心掛ける。
その人らしい暮らしの支援 (3)社会的な生活の支援 6項目中 6項目					
IV-1. (4) 安心と安全を支える支援					
65		<input checked="" type="checkbox"/> ①身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	安全確保をもつとくに職員一人ひとりが見守り体制を重視し、身体拘束や束縛のないケアを職員が認識をしている。	○	身体拘束についての勉強会などをして、職員一人ひとりに共有の認識を持って頂く様に取り組んでいきたい。

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
66	26	<input type="checkbox"/> ②鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	安全確保のため、やもえず玄関の鍵をすることが多い。職員が対応できるときは、一緒に外を散歩したりしているが、日によってはどう対応しても落ち着かれない方がおられる。	○	入居者が落ち着かない様子を察知し、止めるのではなく、さりげなく声をかけたりしていき、本人の安全面に配慮していく。
67		<input checked="" type="checkbox"/> ③利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	職員間での声の掛け合い、見守りを行い入居者の様子を把握し、安全に配慮している。	○	利用者の安全確保を重視し、プライバシーに配慮しながら所在確認や対応を行っていく。
68		<input checked="" type="checkbox"/> ④注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	危険物及び事故につながる物品等は倉庫へ保管し厳重に管理してある。日常生活で使用する包丁・洗剤等は入居者の手の届かない高さの棚に保管している。	○	物品保管のチェックを定期的に行っていく。
69		<input checked="" type="checkbox"/> ⑤事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	職員のミーティングなどで毎回危険を予測される方の対応についてなど話している。事故報告書があるときは、事故の原因と今後の予防対策について検討している。	○	ミーティングなどで、勉強会などをし、職員一人ひとりに事故防止についての知識を高めていく。
70		<input checked="" type="checkbox"/> ⑥急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	年度ごとに消防署指導による心配蘇生法うや応急手当の講習を受けている。また、施設内に緊急時対応のマニュアルを作成している。	○	事業所内で、勉強会の場を設ける。
71	27	<input type="checkbox"/> ⑦災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	災害時のマニュアルは作成しているが、いざというとき動揺が出るのが予想される。地域と連携したデモンストレーションができていない状況でもある。	○	ゆめさと地域協力隊を発足し演習に取り組む方向で考える。
72		<input checked="" type="checkbox"/> ⑧リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	ミーティングなどで入居者に起こりえるリスクについて話し合い、家族面会時や手紙などで、対応している状況を説明している。	○	ミーティングで職員にリスク管理指導を行っていく。
その人らしい暮らしの支援 (4)安心と安全を支える支援 8項目中 6項目					
IV-1. (5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		<input checked="" type="checkbox"/> ①体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異常の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	入居者の動きや表情をよく観察し、バイタル測定を1日2回行っている。変化等の情報をしっかり申し送り、デイ看護師に相談し、早期対応に努めている。	○	体調の変化や異常の早期発見を心がけ、気づいたことがあれば職員間で話し合い、早期対応を行う。

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
74		<input checked="" type="checkbox"/> ②服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬内容のファイルを作成し、処方内容を受診ごとに新しい者に差し替え、職員が内容を把握できるようにしている。	○	薬が変更された場合や新しい薬が処方された時、入居者の状況の変化が起こりえるので、普段より詳細な記録をとるようにしている。
75		<input checked="" type="checkbox"/> ③便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	毎日、牛乳やヨーグルトを摂取していただき、食事のメニューにも配慮している。散歩・レクリエーション・体操などし、運動することで自然な排便が出来るように働きかけている。	○	便秘の予防として今何が行えるか、排便のあり方について、勉強会など行う。排便の促しについて検討していく。
76		<input checked="" type="checkbox"/> ④口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	口腔ケア・義歯の洗浄は朝晩行い、外出後・寝る前にインジンのうがいをやっている。	○	口腔ケアの出来る人は付き添い、声かけを行うが、できない方には介助を行っている。
77	28	<input checked="" type="checkbox"/> ⑤栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	週3日はタイヘイのカロリー計算されている献立に基づき調理している。特に、水分を自ら摂取しようとされない方を把握し、摂取を促すようにする。	○	定期的に栄養士や専門的な方の視点からアドバイスや献立のチェックをしていく。
78		<input checked="" type="checkbox"/> ⑥感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	感染管理委員会を置いて、感染症のマニュアルを作成している。感染に対し、毎日の消毒・除菌・手洗いうがいの予防に努めている。	○	感染の流行や季節によって発生しやすい物に対し早期に予防に努める。感染に対する対策など徹底していく。
79		<input checked="" type="checkbox"/> ⑦食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	まな板等常に消毒し、キッチンの清掃と衛生管理を毎日の業務としている。食材を長期保管しないように業者と仕入れ時期などを考え管理に努めている。	○	冷蔵庫の整理など行い、新鮮な食材を使用する。キッチン周りなども清潔に保つようにしていく。
その人らしい暮らしの支援 (5)健康面の支援 7項目中 7項目					
IV-2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
IV-2. (1) 居心地のよい環境づくり					
80		<input type="checkbox"/> ①安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	あてもなく歩き回られる方がおられるため、安全確保のため、玄関を施錠せざるを得ない場合もあるが、その都度説明し理解を得ている。	○	家族や外部の方に違和感を感じないように雰囲気作りを行い、気軽に出入りできるように配慮していく。
81	29	<input checked="" type="checkbox"/> ②居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	園芸・環境担当を設置しており、季節感を取り入れた飾りやテーブルに花を生けたり、食堂から見えるガーデニングや自然を見て和んでおられる。	○	生活観や季節感を感じて頂ける環境を作っていく。家庭的な居心地の良い空間が増えていくように工夫する。

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
82		<input checked="" type="checkbox"/> ③共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ソファや椅子、外でくつろげるベンチの設置し利用していただいている。気の合った入居者同士、近い席に座っていただいている。	○	入居者の思い思いの居場所が自然と出来るように配慮していく。
83	30	<input checked="" type="checkbox"/> ④居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	本人の使っておられた家具や馴染みのある物を持ち込んで頂いている。和室と洋室があるが、畳での生活が長い方が多いため、床に和室を敷き使用している。	○	本人が少しでも居心地が良く過ごしていただけるように、入居時などに馴染みのある物を持って来て頂く様に説明する。
84		<input checked="" type="checkbox"/> ⑤換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のおよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	その日の天候や気温等入居者の様子に伴ない、温度調節を行っているが出来るだけ自然の空気を取り入れ、調節している。	○	各居室に袋に入れた炭を置き、臭い消しにしている。敏感に温度調節を行い、毎日の換気を今後も行っていく。
生活環境づくり (1)居心地のよい環境づくり 5項目中 4項目					
IV-2. (2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		<input checked="" type="checkbox"/> ①身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	建物内部で一部入居者さんにとって高いと思われる部分もいくつかあるが、危険だと思われる部分の配慮を行い、出来るだけ自立した生活を送っていただいている。	○	入居者の身体機能を活かした生活環境作りを心がけ、ミーティングなどで話し合い工夫していく。
86		<input checked="" type="checkbox"/> ②わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	入居者の出来ること・出来ないことを把握し、出来ることをしていただくように支援し、出来ないことは自然に配慮している。	○	さまざまな精神状況から混乱が起きることがあるので、その原因をつかみ対応をミーティングなどで考えていく。
87		<input checked="" type="checkbox"/> ③建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	のどかな田園風景が広がり、外周を散歩したり、畑やプランターがありベンチなどで日向ぼっこをしている。	○	日野を代表するわたむき山が見え田んぼや畑が田舎の自然の心地良さを感じさせてくれる環境である。
生活環境づくり (2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり 3項目中 3項目					

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

V. サービスの成果に関する項目		取り組みの成果 (該当する箇所の番号の左横に○印をつけること)
項目		↓○印欄
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者の <input type="radio"/> ②利用者の2/3くらい <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらい <input type="radio"/> ④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<input type="radio"/> ①毎日ある <input type="radio"/> ②数日に1回程度ある <input type="radio"/> ③たまにある <input type="radio"/> ④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族と <input type="radio"/> ②家族の2/3くらいと <input type="radio"/> ③家族の1/3くらいと <input type="radio"/> ④ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所の番号の左横に○印をつけること)
		↓○印欄
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の2/3くらいが <input type="radio"/> ③職員の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の2/3くらいが <input type="radio"/> ③家族等の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

併設されているデイサービスのレクリエーション参加、グループ内の事業所の行事への参加などにより、入居者の他の方との交流の場を提供している。

評価結果整理表

個 別 表	□のチェック項目数
I 理念に基づく運営	
－1. <input type="checkbox"/> 理念と共有	2 項目/3項目
－2. <input type="checkbox"/> 地域との支え合い	2 項目/3項目
－3. <input type="checkbox"/> 理念を実践するための制度の理解と活用	4 項目/5項目
－4. <input type="checkbox"/> 理念を実践するための体制	7 項目/7項目
－5. <input type="checkbox"/> 人材の育成と支援	4 項目/4項目
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	
－1. <input type="checkbox"/> 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	4 項目/4項目
－2. <input type="checkbox"/> 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	6 項目/6項目
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	
－1. <input type="checkbox"/> 一人ひとりの把握	3 項目/3項目
－2. <input type="checkbox"/> 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	2 項目/3項目
－3. <input type="checkbox"/> 多機能性を活かした柔軟な支援	1 項目/1項目
－4. <input type="checkbox"/> 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	10 項目/10項目
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	
IV－1. その人らしい暮らしの支援	
－1. (1) <input type="checkbox"/> 一人ひとりの尊重	3 項目/3項目
－1. (2) <input type="checkbox"/> その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援	5 項目/6項目
－1. (3) <input type="checkbox"/> その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援	6 項目/6項目
－1. (4) <input type="checkbox"/> 安心と安全を支える支援	6 項目/8項目
－1. (5) <input type="checkbox"/> その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援	7 項目/7項目
IV－2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	
－2. (1) <input type="checkbox"/> 居心地のよい環境づくり	4 項目/5項目
－2. (2) <input type="checkbox"/> 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり	3 項目/3項目

総合評価

I 理念に基づく運営 (項目/5項目)について

地域密着型としての理念が創りあげられていないので、今後、理念の見直しを行っていく必要がある。理念に対する意識は各自している。家族算は、入居時に説明し、地域のT方々には運営推進会議を行っているため、少しずつ知ってもらっている。

II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 (項目/2項目)について

最初の面談で、本人や家族さんの不安や思いを聞き入れ、信頼していただけるように努力している。入居された時に安心していただけるように事前に情報収集をしっかり行い、出来るだけ馴染みやすい環境を作っている。

III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント (項目/4項目)について

意思疎通が困難な方もおられるが、家族や本人の気持ちになって考えられるようにしている。これまでの暮らし方と施設での生活状況を記録などからふまえ、介護計画書を立ててあるが、日々の現状の変化に応じての見直しがなかなか出来ていない。本人がよりよい暮らしが出来るように地域の方々や医療機関に協力していただき、ミーティングなどで今後のケアについて話し合っている。

IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 (項目/7項目)について

一人一人の尊厳を大切にしていくように、。日々での生活支援をしている。外部の社会的なつながりを持っていただき、いろんな事を感じる機会を作り配慮している。安全な生活を皆さんに送って頂くため、日頃から安全確保に努め、事故に備えてマニュアルの作成や災害時の訓練を行っている。入居者にとって安心した居心地の良い環境を作り出し、自然に配慮した取り組みを行っている。

V サービスの成果に関する項目について

地域密着型として、徐々に地域に馴染んできており、今後運営推進会議に重点を置き、外部との交流を深めていく。入居者にとって、安全で居心地の良い環境を作り、一人一人のペースや思いを大切にしながら、生活できるようにケアしていく。今後の目標として、家族とのかかわりをもっていきたいと思うので家族会の設置など考えている。

★サービスの質の向上に向けて、取り組む課題と優先順位、具体的な行動の計画

評価年月日： 19年 7月 1日

前回評価年月日： 18年 7月 8日

サービスの質の向上に向け取り組む課題			取り組み期間 (○年○月～ ○年○月まで)	改善に向けた具体的な行動	達成度評価	次期 評価 実施 時期
評価項目番号	優先順位	内容				
I-1 (1)①		独自の理念は創りあげられているが、地域密着型としての理念が創りあげられていないので理念の見直しを行う。	19年8月～11月	月に一回あるミーティング、リーダー会議で今後の理念の見直しについて話し合い作成する。		
I-4 (16) ⑤		職員個々の意見を出し合える場を作りまとまりある話し合いを行い、質の向上につなげたい。	19年8月～	2ユニットでの合同のミーティングを行っていたが、今後各ユニットごとに会議の場を持ちできるだけ、職員の意見や提案を聞き入れていく。		
III-2 (36) ①		介護計画書についてたの職員や家族の方の意見や内容を共有する場を作っていく。	19年8月～	介護計画について受け持ちなどの意見を聞きミーティングなどで情報交換し、家族の方が来られたときに少し時間を頂き意見など聞くようにする。		
III-2 (37) ②		介護計画について状況の変化に応じた見直しを随時行っていく。	19年8月～	日々の入居者の状況を把握し、変化に応じて検討・見直しを行っていく。		
IV-1 (IV)(7) 1)⑦		災害時の避難訓練方法のマニュアルの見直しをし、地域との連携した避難訓練を行う。	19年8月～	運営推進会議で災害時の取り組みについて説明し、同じ地域の方々に呼びかけていき、災害時に協力していただけるように働きかけていく。		
IV-1 (4)(6) 6)②		日中など出来るだけ、玄関のドアに鍵をかけないケアに取り組んでいく。	19年7月末～	玄関に鍵をかけず、自由に行けるようにするが、入居者の安全確保のため、敷津内の見守りが出来るようにフェンスをしている。その敷地に違和感を感じないように園芸などを取り入れた自然な環境づくりを行っていく。		